



2011 年度 同志社女子大学学芸学部音楽学科 公開講座・コンサート

フィリップ・マヌリ

～ライブ・エレクトロニクス・ミュージック～

～Profile～

フィリップ・マヌリはパリ国立音楽院卒業後、フランス音響音楽研究所IRCAM でピエール・ブーレーズとともに、音響と音楽の研究に携わる。数学者ミラー・パケットとの共同研究、アコースティック楽器とコンピュータのインタラクティブ・リアル・タイム音響処理を伴った音楽と新しいテクノロジーの関係を研究する。スーパー・コンピュータ 4X-Patcher を用いたMIDI ピアノとコンピュータのためのライブ・エレクトロニクス作品「Pluton」「Sonvs」「Jupiter」などは、音楽とテクノロジーが新たな可能性を導いた傑作として世界的な注目を浴びる。また、ブーレーズが創設したアンサンブル・アンテルコンテンポランの責任者、リヨン国立音楽院教授、パリ管弦楽団の作曲家レジデントなどを勤める。パリ市作曲グラン・プリ (1998) SACEM の室内楽賞 (1976) 最優秀室内楽賞 (1988) 管弦楽グラン・プリ (1999) SACD グラン・プリ (2001) 音楽評論賞 (2001) モナコの“ピエール一世賞” (2002) などを受賞する。現在アメリカのサン・ディエゴのカルフォルニア大学教授。作品はユニヴァーサルおよびデュランで出版されている。フランス政府のアーティスト・イン・レジデンスとして関西日仏交流会館ヴィラ九条山に短期滞在。

〈日 時〉 2011 年 6 月 26 日 (日) 〈場 所〉 頌啓館ホール (京田辺キャンパス)

～Concert Program～

14:00 プレトーク：フィリップ・マヌリ「ライブ・エレクトロニクス・ミュージック」(通訳付)

15:00 コンサート：フィリップ・マヌリ作品

「Neptune - ネプチューン」 パーカッションとライブ・エレクトロニクスのため

「Le Livre des claviers - 鍵盤の本」 (抜粋) パーカッションのため

「Pluton - プルトン」 ピアノとライブ・エレクトロニクスのため

演奏：チェリー・ミログリオ (パーカッション)、アंकザ・アプロデュ (ピアノ)

同志社女子大学学芸学部音楽学科打楽器アンサンブル：中野めぐみ、福田理奈、石崎礼子、奥川綾、久保菜々恵、北隅友季子、西本華子、齋藤真子、矢野瞳、工藤沙ゆり、大依紘子、島田菜摘、竹内唯

音響：檜垣智也 (本学講師)

〈入場無料〉

整理券・申込不要 (一般の方もご来場いただけます)

近鉄興戸駅下車、徒歩約10分、JR 同志社前駅下車、徒歩3分

駐車場はございませんので、公共交通機関をご利用下さい。

主催・お問い合わせ／同志社女子大学学芸学部・文学研究科事務室 (音楽学科) (0774-65-8501)